

社会資本総合整備計画

平成 30年 2月13日

計画の名称	駅周辺歩行者の交通円滑化と駅前を中心とした「にぎわい」のあるまちづくり		
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）	交付対象	野洲市
計画の目標			

自動車通行の分散化を図る駅前広場や周辺道路網の整備と併せて歩道改良を行い、歩行者・自転車利用者に対する安全な空間を形成すると共に、魅力ある「まちなみ」を創出し「にぎわい」のあるまちづくりを推進する。

計画の成果目標（定量的指標）	
----------------	--

アンケート調査の結果、駅前広場のことについて、「困りごと」があるとの回答が45%あった。主な内容は、中央の横断歩道を渡る怖さや車の渋滞・走行のしにくさである。整備による課題の解決によって、824名の調査結果で45%あった「困りごと」が、減少すると考えられる。安全性と利便性の向上により、「困りごと」は、7%減少すると設定する。

定量的指標の定義及び算定式		定量的指標の現況値及び目標値			備考
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28年末)	最終目標値 (H30年末)	
JR野洲駅利用の年間乗客人数を調査する。		370人		316人	
(困りごとのある人の割合) = (困りごとのある人数) / (アンケート調査の人数) * 100		45% / 824人		38% / 824人	

全体事業費	合計 (A + B + C)	934 百万円	A	805 百万円	B	0 百万円	C	129 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	13.8%
-------	-------------------	------------	---	------------	---	----------	---	------------	-------------------------------	-------

交付対象事業

A 道路事業

[illegible]

B 関連社会資本整備事業

[illegible]

合計	21
----	----

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
8-B1	野洲駅北口支線（8-A1）の歩道改良と一体となって、近接する公園の一体的整備を行い、歩行者に緑豊かな憩いの場・にぎわいの場を提供することにより、魅力ある「まちなみ」を創出し「にぎわい」のあるまちづくりを推進できる。	

C 效果促進事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H26	H27	H28	H29	H30		
8-C1	駅前広場	一般	野洲市	直接		改築	0.55	野洲駅北口駅前広場整備事業	エスカレーター整備 (1箇所)	野洲市						129	

合計	129
----	-----

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
8-C1	危険な中央の横断歩道を除去するため、代替施設となる横断歩道橋を整備する駅前広場整備事業にあわせて、この歩道橋の利用を促進するため、階段部にエスカレーターを設置して利用者の利便性向上を図るものである。	

史の横断歩道を除去するため、代替施設となる横断歩道橋を整備する駅前広場整備事業にあわせて、この歩道橋の利用を促進するため、階段部にエスカレーターを設置して利用者の利便性向上を図るものである。

社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称	8 駅周辺歩行者の交通円滑化と駅前を中心とした「にぎわい」のあるまちづくり	交付団体	野洲市
計画の期間	平成26年度～平成30年度		

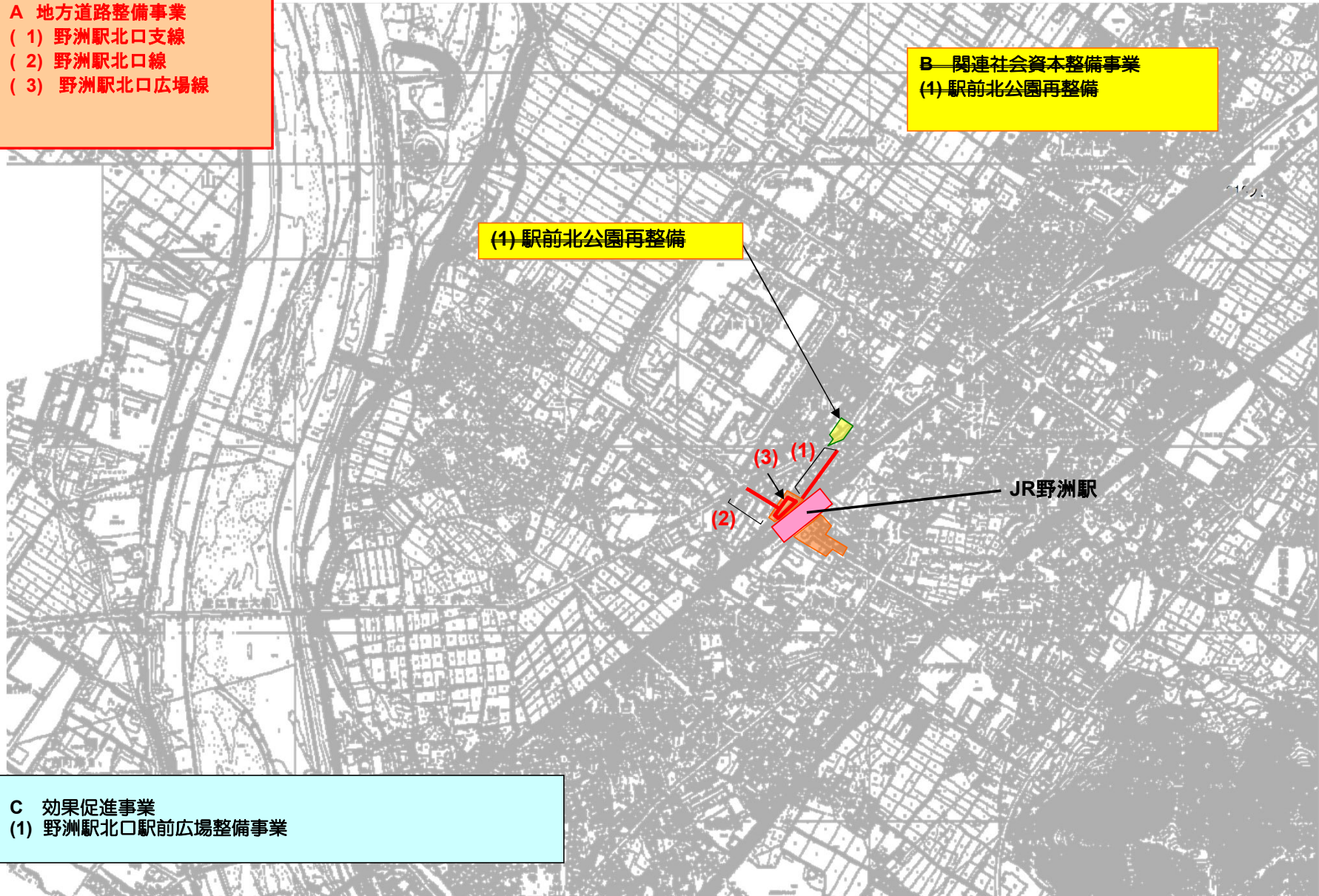
- A 地方道路整備事業**
- (1) 野洲駅北口支線
 - (2) 野洲駅北口線
 - (3) 野洲駅北口広場線

- B 関連社会資本整備事業**
- (4) 駅前北公園再整備

- (4) 駅前北公園再整備

JR野洲駅

- C 効果促進事業**
- (1) 野洲駅北口駅前広場整備事業



交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	4.9	206.7	143.4	56.0	58.9
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
交付額 (c=a+b)	4.9	206.7	143.4	56.0	58.9
前年度からの繰越額 (d)	0.0	0.9	127.0	58.9	16.4
支払済額 (e)	4.0	80.6	211.5	98.5	
翌年度繰越額 (f)	0.9	127.0	58.9	16.4	
うち未契約繰越額 (g)	0.9	3.5	0.0	0.4	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0.0	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	18.4%	1.7%	0.0%	0.3%	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	エスカレーターに側壁を設置する検討を行ったため、次期委託業務の発注が遅れたため。				

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

社会資本整備総合交付金チェックシート

(活力創出基盤整備)

計画の名称：駅周辺歩行者の交通円滑化と駅前を中心とした「にぎわい」のあるまちづくり
事業主体名：野洲市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位都市再生基本方針との適合等	
1)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1)全体事業費、要素事業の額が適切である。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○